

大雨に備え、水害対策を強化します！

～内水ハザードマップ活用動画の公開と 下水道管内の水位情報提供の位置を追加します～

近年、気候変動の影響が指摘されるなか、全国的に毎年のように水害が発生しています。横浜市においても時間降雨量 100 ミリを観測するなど、下水道の整備水準を大きく上回る大雨が発生しています。

このたび大雨に対する備えを強化するため、内水ハザードマップの活用動画「大雨に備えて～内水ハザードマップの活用～」を横浜市ウェブサイトで公開します。

また、速やかな避難行動に役立てていただくため、横浜市ウェブサイトで公開している下水道管内の水位情報提供の位置を追加します。ぜひご活用ください。

1 内水ハザードマップの活用動画「大雨に備えて～内水ハザードマップの活用～」を公開

激甚化する豪雨災害に対し最大規模のリスクを知り備えていただくため、大雨時に下水道管や水路からの浸水が想定される区域や、浸水する深さなどの様々な情報をまとめている内水ハザードマップを令和 3 年 6 月に改定し、想定し得る最大規模の降雨である時間降雨量 153mm を対象としています。

内水ハザードマップをより多くの方々に活用いただけるよう、内水ハザードマップ活用動画「大雨に備えて～内水ハザードマップの活用～」を公開します。

(1) 内水ハザードマップ活用動画「大雨に備えて～内水ハザードマップの活用～」



動画では、近年の内水に関する災害情報の説明をはじめ、内水氾濫や河川氾濫のメカニズムをわかりやすく説明しています。

また、内水ハザードマップの見方や活用のしかた、浸水災害時の注意点を紹介しています。

(2) 横浜市ウェブサイトでの公開

5 月 31 日（水）午前 9 時より横浜市ウェブサイトにて公開します。

環境創造局HP：<http://www.city.yokohama.lg.jp/kankyo/gesui/naisuihm/>

内水ハザードマップ 横浜市 検索



2 下水道管内の水位情報提供の位置を追加

市民や地下街管理者の皆様の水害に対する防災意識の向上や、迅速な避難に役立てていただくことを目的に、横浜駅西口周辺の下水道管内（4か所）の水位情報を令和3年6月から発信しています。

新たに横浜駅東口周辺でも下水道管内（2か所）の水位情報を追加し、横浜市ウェブサイトでも発信します。

(1) 新たに追加する下水道管内の水位情報提供の位置について



(2) 横浜市ウェブサイトでの公開

横浜市ウェブサイトにて、下水道管内の水位情報を御確認いただけます。

※新たに追加する、横浜駅東口周辺 下水道管内（2か所）の水位情報については、5月31日（水）午前9時から公開します。

<https://sewerwaterlevel.city.yokohama.lg.jp/>

横浜市下水道水位情報 検索



お問合せ先

環境創造局下水道事業マネジメント課長 小林 史幸 Tel 045-671-2613